

近畿中部



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成 19 年 9 月 1 日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、さしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2019
第 56 号



（写真提供：航空幕僚監部総務部広報室）

目次

年頭の挨拶	2
潜水艦「おうりゅう」命名・進水式	3
部隊紹介～航空自衛隊輪島分屯基地	4
防衛施設周辺自治体の紹介（輪島市）	5
建設工事に係る業務一元化	6
地方公共団体等へ防衛白書を説明	7
米軍経ヶ岬通信所からのニュース	8

年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国周辺の安全保障環境は、中国による尖閣諸島を含む我が国周辺海空域などにおいて、力を背景とした現状変更の試みや、既成事実化を着実に進めるなど、自らの主張を妥協なく実現しようとする

姿勢を継続的に示しており、また、北朝鮮については、北朝鮮の核・ミサイル開発などの軍事的な動きは、我が国の安全に対するこれまでにない重大かつ差し迫った脅威と言えます。

このような安全保障環境の変化を踏まえ、近畿中部防衛局は本年におきましても、近畿・中部地区 2 府 10 県に所在する自衛隊や在日米軍の活動に不可欠な防衛施設と周辺地域との調和を図るための各種施策や自衛隊の建設工事、装備品の調達業務など、防衛基盤を支える業務を全力で実施して参ります。

また、広く皆様に防衛省自衛隊について一層のご理解とご協力が得られるよう、防衛問題セミナーの開催、広報誌の配付、ホームページの充実などにも積極的に取り組むと共に関係自治体等が主催する各種行事にも出来るだけ参加させて頂けたらと思います。

当局は、様々な課題を抱えておりますが、職員一同、力を合わせて解決に向けて取り組んで行く所存です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



潜水艦「おうりゅう」命名・進水式

重陽の節句を迎え、平成30年10月4日（木）、三菱重工業株式会社神戸造船所（神戸市兵庫区）において、海上自衛隊潜水艦の命名・進水式が行われました。命名・進水式は東京音楽隊三宅3等海曹の国歌独唱で開式し、新造された潜水艦は、「おうりゅう」と命名され、進水式において海上幕僚長の村川豊海将を始めとする防衛省関係者及び三菱重工業株式会社関係者等、約300人が見守る中、支綱が切断されると海に浮かびました。

「おうりゅう」は、最新鋭潜水艦「そうりゅう」型の11番艦で、全長は84.0メートル、全幅9.1メートル、水中を約20ノットで航行できる性能を有しています。

命名された艦名「おうりゅう」は、麒麟、龍、鳳凰等に代表される「ずい祥動物の名」の中から選出することとされており、海上自衛隊の部隊等から応募された艦名の中から各種検討の結果を受け、防衛大臣が決定したものです。「おうりゅう」は今後、艦内ぎ装工事、海上公試を経て、平成32年3月に海上自衛隊に引き渡される予定です。



進水前の「おうりゅう」

進水前の様子 海上幕僚長の村川豊海将（中央）と島近畿中部防衛局長（左）



艦名「おうりゅう」と命名



国歌独唱直前の三宅3曹

部隊紹介～航空自衛隊輪島分屯基地

部隊の概要

輪島分屯基地は、能登半島の先端、石川県輪島市にある道の駅「ふらっと訪夢」（旧輪島駅）から徒歩 10 分のところに所在します。輪島分屯基地のある輪島市は、人口約 2 万 7 0 0 0 人、1 0 0 0 年以上の歴史があると言われる「輪島の朝市」と世界農業遺産に認定された田んぼの枚数が 約 1 0 0 0 枚ある棚田の「白米千枚田」が有名なところです。



航空自衛隊輪島分屯基地

輪島分屯基地の敷地面積は警戒管制レーダー等の設置されている高洲山を含めると約 2 2 万平方メートルで、東京ドーム約 5 個分と日本海側の分屯基地としては最大規模です。

部隊の沿革は、昭和 2 2 年、米軍のレーダー部隊が輪島市の袖ヶ浜に進駐し、昭和 3 0 年に現在の高洲山に移設、昭和 3 1 年に航空自衛隊東部訓練航空警戒隊第 2 中隊第 2 小隊（第 9 0 7 2 部隊）として輪島市袖ヶ浜に展開し、昭和 3 4 年に米軍からレーダー施設を移管されたのが始まりで、昭和 3 6 年に第 2 3 警戒群に改編、庁舎も袖ヶ浜から現在の青葉ヶ丘地区に移転しました。

輪島分屯基地は、平成 3 0 年 3 月 1 0 日をもって創設 6 2 周年となり、その間、レーダー換装等を経て、現在に至っています。

第 23 警戒群

全国には 2 8 箇所（8 個警戒群と 2 0 個警戒隊）のレーダーが設置されていますが、輪島分屯基地はその中でも日本海全域を監視する最前線の拠点として、重要な役割を果たしています。

全隊員が交代制で 2 4 時間 3 6 5 日、片時も見逃さないよう目を光らせています。

航空自衛隊の 3 本柱は、領空の異変を見つける（レーダー）、緊急発進する（戦闘機）、地対空誘導弾で対処（ペトリオットシステム）です。日本の空を守ためには、どの柱が欠けても成り立ちません。

私たちに果たされた任務は、いち早く領空の異変を見つけること。隊員一人一人には、その重要な任務の一翼を担う自負があります。

地元の多くの皆さんの応援に感謝し、課されたやるべきことをやる。それが第 2 3 警戒群の使命です。

地域との交流

地域活動として、防災訓練、市祭等各種行事に協力する等、輪島市からの依頼に応えるとともに、部隊広報として、職場体験、輪島大祭参加等、地元の行事へ積極的に参加しています。

特に、輪島市民まつりにおいては、部隊から軽装甲機動車等の車両展示の他、高射群からの展開支援、航空団からの飛行展示の支援を受け、地域住民との交流を深めています。



防災訓練



輪島大祭



輪島市民まつり

(写真提供：航空自衛隊輪島分屯基地)

防衛施設周辺自治体の紹介（輪島市）



白米千枚田「あぜのきらめき」

(写真提供：輪島市)

輪島市は、本州中央部日本海に突出した石川県能登半島の北西部に位置し、約 80 キロメートルに及ぶ海岸線は「能登半島国定公園」に指定され、日本海の荒波に削られた風光明媚で男性的な景観を呈しています。市域面積は 426.32 平方キロメートルと石川県の約 1 割を占め、人口は約 2 万 7 千人と少ないながら年間約 120 万人の観光客の皆様は本市を訪れていただいております。

堅牢優美な伝統的工芸品として名高い「輪島塗」を始め、物々交換が起源と言われ日本三大朝市に数えられる「輪島朝市」、かつては曹洞宗の大本山で現在も禅文化が息づく「曹洞宗大本山總持寺祖院」、世界農業遺産能登の里山里海のシンボリック存在である国指定名勝「白米千枚田」など豊富な観光資源を有するほか、アワビやサザエ、加能ガニ（ズワイガニ）、ノドグロ、アマダイ、ブリを始めとした多種多彩な魚介類が一年を通じて水揚げされ、新鮮な海の幸を堪能することができます。

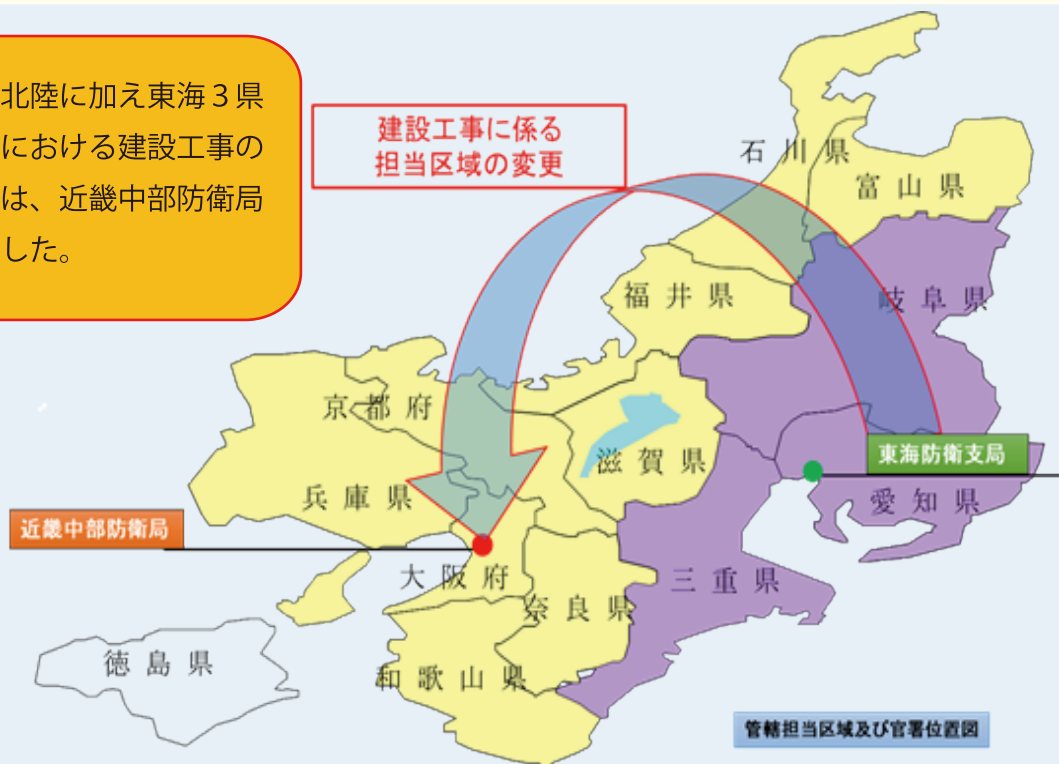
近年では 5 年連続で漁獲高が日本一となっている天然ふぐを「輪島ふぐ」として商標登録するとともに、新たな食の魅力として全国に発信しており、輪島ふぐ料理を安価で食べられる市内店舗も増えてまいりました。

建設工事に係る業務一元化

1. 建設工事に係る業務の一元化

平成30年12月1日付けで、近畿中部防衛局に東海防衛支局が実施していた建設工事に係る部局を一元化して業務を実施することになりました。

これまでの近畿・北陸に加え東海3県を含めた2府10県における建設工事の発注や監督については、近畿中部防衛局で行うことになりました。



○業務

自衛隊施設等の建築、土木、電気、機械及び通信に係る建設工事の業務で、競争参加者資格の登録受付、入札、契約、計画、設計、積算、監督及び検査などです。

○担当区域

近畿中部防衛局の管轄は東海3県（岐阜県、愛知県、三重県）を含め2府10県になりました。

○その他

建設工事関係部局のみが一元化、その他の業務は引き続き東海防衛支局が実施します。

2. 事業監理課の設置

平成30年12月1日付けで、調達部に「事業監理課」が新設されました。事業監理課は、防衛施設建設工事の方針策定及び調整並びに一元的検査を主な所掌事務としており、

- ①総合的に建設工事の進捗管理を行う等のプロジェクトマネジメント機能の強化
- ②建設工事に係る検査の一元的実施による品質管理体制の強化
- ③施設の長寿化及び効率的な施設整備を目的とした、施設のライフサイクルマネジメント機能の強化を図ることとしています。

これらにより、部隊等のニーズを的確に反映し、品質が高い長寿命化が図られた防衛施設建設を目指し業務を実施してまいりたいと思っております。

地方公共団体等へ防衛白書を説明



スマホ向け白書ダイジェスト
ページQRコード

近畿中部防衛局では、例年、自衛隊地方協力本部及び陸・海・空の各自衛隊と連携し、近畿 2 府 4 県、北陸 3 県の地方公共団体（258 団体）や関係団体などに対し、防衛白書の説明を行っております。

この防衛白書の説明は、わが国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、ご理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図ることを目的としております。

平成 30 年版防衛白書は「わが国を取り巻く安全保障環境」、「わが国の安全保障・防衛政策と日米同盟」、「国民の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取組」の 3 部で構成され、各部において分かりやすく記述しております。

主な特色としては、「使いやすさ、分かりやすさの追求」として、索引用語を昨年比約 1.5 倍の 550 語に増やすとともに、AR（拡張現実）動画を活用することで、紙面では表現できなかった隊員や装備品の動きを視聴できるようにしました。

また、「普及促進のための取組」として、1 分程度の「コマーシャル」を防衛省・自衛隊 HP などで公開したり、民間電子書籍市場での配信を行っております。

防衛省・自衛隊 HP にも防衛白書全文が掲載されておりますので、1 人でも多くの方々に目を通していただき、防衛政策や防衛省・自衛隊の各種政策について理解を深めていただければと考えております。



（30.11.22 京都府知事）



（30.11.29 石川県知事）



（30.12.4 奈良県知事）



（30.12.20 富山県知事）

米軍経ヶ岬通信所からのニュース



クリスマスの英会話交流イベント



米陸軍経ヶ岬通信所は12月12日、京丹後市弥栄町黒部地区公民館にてクリスマスの英会話交流イベントを開催しました。子供たちと地域の皆様を含めて、約80名が参加しました。

参加者は、アルファベットの練習、塗り絵、線つなぎやオーナメントのデコレーション、クリスマスに関する英会話を楽しみました。イベントの途中にはサンタクロースが登場し、参加者にプレゼントを渡して回りました。最後に全員で「サンタが街にやってくる」を歌い、イベントは大盛況のうちに終わりました。イベントに参加した小学校6年生の男の子は、「サンタさんが思ったより大きくてびっくりしたけど、プレゼントがもらえて嬉しかったです。」と話しました。

米陸軍第14ミサイル防衛中隊 中隊長のボガート大尉は、「私たちは毎月、丹後町袖志地区で文化交流イベントを開催していますが、他にもたくさんの地区から同様の交流会開催の要望があり、今回初めて弥栄町黒部地区で開催しました。多くの方に参加してもらって嬉しく思いますし、私たちも故郷から離れた地でクリスマスを楽しむことができました。今後も可能な限りこのようなイベントを続けていきたいと思っています。」と話しました。

このイベントの開催のために場所の提供や告知等、ご尽力いただいた黒部区長をはじめ地域の皆様に感謝いたします。次のイベントで皆様にお会いするのを楽しみにしております。



■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

(電話・FAX)

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

(メールアドレス)

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2019年（通算第56号）

平成31年1月発行

近畿中部防衛局

広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。